立山黒部アルペンルート営業概況(速報) (平成16年4~11月:立山~扇沢間)

立山黒部アルペンルートは、去る11月30日を持ちまして、本年の営業を終了いたしました。 なお、期間中(平成16年4月10日~11月30日)の、立山黒部アルペンルートへの入り込み 客数は、103万8千人(前年同期比92%、貸切バスを含む)でした。

【 営業概況 】

今シーズンの入り込み客数は、雪の大谷イベントの延長展開などで好調なスタートとなりましたが、その後は、記録的な集中豪雨、猛暑、過去最高の上陸数となった台風などの異常気象に加え、アテネオリンピック開催による出控え、さらには10月下旬に発生した新潟中越地震の影響等によって、残念ながら低調に推移いたしました。

このような状況の中、政府の「ビジット・ジャパン・キャンペーン」に沿い、特に台湾、韓国、中国向け「雪の大谷」ポスターを新たに作製する等、積極的に営業展開した結果、東アジアを中心とする海外からの入り込み客数は、昨年を大きく上回る、4万7千人(前年同期比196%)となり、今後期待する明るい話題となりましたが、最終的には、国内旅行客の大きな落込みにより、本年の成績は大変厳しい結果で終了いたしました。

【参考】

<昨年の立山黒部アルペンルート入り込み客数>
平成15年4月10日~11月30日 112万6千人(内、海外から2万4千人)